



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月10日

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス
コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	3,350	21.4	29	—	25	—	8	—
26年2月期第1四半期	2,758	14.3	△13	—	0	△99.0	△12	—

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 11百万円 (—%) 26年2月期第1四半期 △20百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	1.09	1.09
26年2月期第1四半期	△1.97	—

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	8,842	—	2,037	23.0	—	—	254.33	—
26年2月期	7,706	—	2,030	26.3	—	—	253.92	—

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 2,033百万円 26年2月期 2,030百万円

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、1株当たり純資産につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	500.00	—	1.00	—
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	1.00	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。平成26年2月期第2四半期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,575	18.8	63	—	80	—	24	—	3.00
通期	13,500	18.2	220	—	236	—	89	—	11.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期1Q	8,196,400 株	26年2月期	8,196,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年2月期1Q	200,000 株	26年2月期	200,000 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期1Q	7,996,400 株	26年2月期1Q	6,529,983 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等が様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策の効果や経済政策への期待感から円高是正、株価回復が持続し、緩やかな景気回復が見られるようになってまいりました。一方で、原材料価格の上昇や電気料金の値上げ、消費税増税による個人消費低迷への懸念など、先行きは不透明さが残る状況となっております。

外食業界におきましては、消費税増税の影響は限定的となり堅調に推移いたしました。景気回復に伴い人手不足の傾向が強まっており、人件費の高騰が懸念されるなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、中長期計画の達成を目指して新規出店に注力し、10店舗を新規出店、3店舗をリニューアルオープンいたしました。また、居酒屋を中心とした飲食事業を展開するサンクスマインド株式会社を連結子会社化し、6店舗を取得いたしました。これらにより、平成26年5月末日現在の業態数及び店舗数は、53業態124店舗（国内123店舗、海外1店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,350百万円（前年同期比21.4%増）、営業利益は29百万円（前年同期は営業損失13百万円）、経常利益は25百万円（前年同期比70.3倍）、四半期純利益は8百万円（前年同期は四半期純損失12百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

新規出店に注力するとともに、サンクスマインド株式会社の連結子会社化により6店舗を取得いたしました。

新規出店におきましては、平成26年3月に、「舌一（タンピン）」（愛知県豊田市）及び「88 huituit（ユニットユニット）ららぼーとTOKYO-BAY」（千葉県船橋市）、4月に、「猿Cafe（サルカフェ）愛知学院大学名城公園キャンパス店」（名古屋市中村区）、「88 huituit 名駅店」（名古屋市中村区）、「The Oyster Bar Kobe（ザオイスターバーコウベ）」（神戸市中央区）及び「The Oyster Bar Shizuoka（ザオイスターバーシズオカ）」（静岡市葵区）、5月には、初のビアガーデン運営となる「静岡パルシェビアガーデン」（静岡市葵区）の出店に加え、「猿Cafe町田マルイ店」（東京都町田市）、「爽鶏屋（そうどりや）名駅三丁目」（名古屋市中村区）、「二六丸（ニロクマル）名駅店」（名古屋市中村区）をオープンいたしました。

また、平成26年3月に、「ガチ韓Lucent（ガチカンルーセント）」（名古屋市西区）を「伊助（イスケ）」として、「88 huituit 泥江町店」（名古屋市中村区）を「tantan（タンタン）」として、「庵GURA（アグラ）金山店」（名古屋市熱田区）を「爽鶏屋金山店」としてリニューアルオープンいたしました。

その結果、飲食事業における売上高は2,992百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益は152百万円（同141.4%増）となりました。

② ブライダル事業

「LUCENT Mariage Tower（ルーセントマリージュタワー）」が堅調に推移いたしました。その結果、ブライダル事業における売上高は265百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は28百万円（同0.2%増）となりました。

③ 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS（ジーセブン）刈谷」などの賃貸収入に加え、グループ会社間の賃貸収入が堅調に推移いたしました。その結果、不動産事業における売上高は409百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は35百万円（同0.7%増）となりました。

④ その他の事業

広告代理業及び卸売業等のその他の事業における売上高は197百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は6百万円（同29.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,842百万円（前連結会計年度末比1,136百万円増加）となり、負債は6,805百万円（同1,129百万円増加）、純資産は2,037百万円（同6百万円増加）となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ総額で481百万円増加し1,803百万円となりました。これは、現金及び預金が252百万円増加、売掛金が147百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ655百万円増加し7,031百万円となりました。これは、新規出店等により有形固定資産が464百万円増加、差入保証金が131百万円増加したことなどが主な要因であります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ845百万円増加し2,979百万円となりました。これは、買掛金が318百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が120百万円増加、未払金が386百万円増加、賞与引当金が67百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ283百万円増加し3,825百万円となりました。これは、長期借入金が310百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、有償ストックオプションの発行により新株予約権が3百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し2,037百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきまして、現時点での修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	708,393	960,544
売掛金	267,947	415,257
商品及び製品	4,882	211
原材料及び貯蔵品	75,322	94,573
その他	281,327	348,143
貸倒引当金	△16,126	△15,275
流動資産合計	1,321,747	1,803,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,004,053	3,333,119
土地	1,428,664	1,428,664
その他(純額)	522,857	657,803
有形固定資産合計	4,955,575	5,419,586
無形固定資産	31,764	64,464
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,562
差入保証金	1,147,130	1,279,102
その他	250,751	280,966
貸倒引当金	△17,776	△21,574
投資その他の資産合計	1,388,325	1,547,058
固定資産合計	6,375,666	7,031,109
繰延資産		
株式交付費	5,136	4,566
社債発行費	3,564	3,370
繰延資産合計	8,701	7,936
資産合計	7,706,114	8,842,501

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	264,746	583,584
短期借入金	—	698
1年内返済予定の長期借入金	818,402	939,155
1年内償還予定の社債	46,000	46,000
未払金	637,855	1,023,884
未払法人税等	50,645	32,582
賞与引当金	—	67,497
その他	316,355	286,341
流動負債合計	2,134,004	2,979,743
固定負債		
社債	184,000	171,000
長期借入金	3,012,886	3,323,091
資産除去債務	60,637	65,189
その他	284,168	266,291
固定負債合計	3,541,691	3,825,572
負債合計	5,675,696	6,805,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,068,969	1,068,969
資本剰余金	998,969	998,969
利益剰余金	64,781	65,534
自己株式	△76,000	△76,000
株主資本合計	2,056,719	2,057,472
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△26,300	△23,725
その他の包括利益累計額合計	△26,300	△23,725
新株予約権	—	3,438
純資産合計	2,030,418	2,037,185
負債純資産合計	7,706,114	8,842,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
売上高	2,758,922	3,350,220
売上原価	848,545	1,016,061
売上総利益	1,910,376	2,334,158
販売費及び一般管理費	1,924,031	2,304,825
営業利益又は営業損失(△)	△13,654	29,333
営業外収益		
受取利息	386	190
協賛金収入	15,219	15,330
設備賃貸料	983	1,110
為替差益	9,751	—
その他	5,459	4,221
営業外収益合計	31,801	20,853
営業外費用		
支払利息	16,370	15,178
為替差損	—	3,247
その他	1,415	6,353
営業外費用合計	17,785	24,779
経常利益	361	25,407
特別損失		
店舗閉鎖損失	8,299	388
特別損失合計	8,299	388
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,937	25,019
法人税等	4,939	16,269
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△12,876	8,749
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,876	8,749

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△12,876	8,749
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,489	2,575
その他の包括利益合計	△7,489	2,575
四半期包括利益	△20,366	11,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,366	11,324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,359,272	264,550	48,634	2,672,457	86,464	2,758,922	—	2,758,922
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	24,313	—	320,739	345,053	122,396	467,449	△467,449	—
計	2,383,585	264,550	369,374	3,017,511	208,861	3,226,372	△467,449	2,758,922
セグメント利益又は損失(△)	62,964	28,222	35,332	126,519	9,457	135,977	△149,632	△13,654

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額 △149,632千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,966,580	265,096	44,105	3,275,782	74,437	3,350,220	—	3,350,220
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26,165	—	365,016	391,182	123,129	514,311	△514,311	—
計	2,992,746	265,096	409,122	3,666,965	197,567	3,864,532	△514,311	3,350,220
セグメント利益	152,016	28,270	35,594	215,882	6,667	222,549	△193,215	29,333

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 △193,215千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食事業」セグメントにおいて、サンクスマインド株式会社の全株式を取得し子会社化しております。当第1四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は36,737千円であります。